

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和4年10月26日(2022.10.26)

【国際公開番号】WO2022/097708

【出願番号】特願2022-544231(P2022-544231)

【国際特許分類】

C 0 8 L 67/04(2006.01)

C 0 8 L 91/06(2006.01)

C 0 8 L 29/04(2006.01)

B 3 2 B 23/08(2006.01)

C 0 9 D 5/02(2006.01)

C 0 9 D 167/04(2006.01)

C 0 9 D 7/65(2018.01)

C 0 9 D 191/06(2006.01)

C 0 9 D 7/63(2018.01)

C 0 9 D 129/04(2006.01)

C 0 9 J 167/04(2006.01)

C 0 9 J 11/06(2006.01)

C 0 9 J 11/08(2006.01)

C 0 9 J 191/06(2006.01)

C 0 8 J 5/18(2006.01)

C 0 9 K 23/52(2022.01)

B 0 1 J 13/20(2006.01)

C 0 8 L 101/16(2006.01)

10

20

【F I】

C 0 8 L 67/04 Z B P

C 0 8 L 91/06

C 0 8 L 29/04

B 3 2 B 23/08

C 0 9 D 5/02

C 0 9 D 167/04

C 0 9 D 7/65

C 0 9 D 191/06

C 0 9 D 7/63

C 0 9 D 129/04

C 0 9 J 167/04

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 11/08

C 0 9 J 191/06

C 0 8 J 5/18 C F D

C 0 9 K 23/52

B 0 1 J 13/20

C 0 8 L 101/16

30

40

【手続補正書】

【提出日】令和4年7月20日(2022.7.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

分散質として生分解性樹脂とワックスとを含み、該分散質を水系の分散媒に分散してなり、ヒートシールコーティング剤に用いる水分散体であって、

前記生分解性樹脂はポリ乳酸であり、

前記ワックスはカルナバワックスであり、前記ポリ乳酸に対して 1 ~ 14 質量%の前記カルナバワックスが配合されており、ヒートシール剤として 120 でのヒートシール性と、45 での耐ブロッキング性とを与える、水分散体。

10

【請求項 2】

前記カルナバワックスの配合量は 2 ~ 14 質量%である、請求項 1 に記載の水分散体。

【請求項 3】

前記カルナバワックスの配合量は 6 ~ 14 質量%であり、ヒートシール剤として 120 でのヒートシール性と、50 での耐ブロッキング性とを与える、請求項 1 に記載の水分散体。

【請求項 4】

前記カルナバワックスの配合量は 6 ~ 8 質量%であり、ヒートシール剤として 110 でのヒートシール性と、50 での耐ブロッキング性とを与える、請求項 1 に記載の水分散体。

20

【請求項 5】

前記水分散媒には分散剤として部分ケン化型ポリビニルアルコールが、前記分散質に対して 2.0 ~ 10.0 質量%配合されている、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の水分散体。

【請求項 6】

分散質として生分解性樹脂と可塑剤とワックスとを含み、該分散質を水系の分散媒に分散してなり、ヒートシールコーティング剤に用いる水分散体であって、水分散体であって

、
前記生分解性樹脂はポリ乳酸であり、

前記可塑剤が、前記ポリ乳酸に対して 1 ~ 15 質量%含まれ、

前記ワックスはカルナバワックスであり、前記ポリ乳酸及び可塑剤の合計に対して 1 ~ 14 質量%の前記カルナバワックスが配合されており、ヒートシール剤として 120 でのヒートシール性と、40 での耐ブロッキング性とを与える、水分散体。

30

【請求項 7】

前記カルナバワックスの配合量は 2 ~ 14 質量%である、請求項 6 に記載の水分散体。

【請求項 8】

前記カルナバワックスの配合量は 6 ~ 14 質量%であり、ヒートシール剤として 120 でのヒートシール性と、50 での耐ブロッキング性とを与える、請求項 6 に記載の水分散体。

【請求項 9】

前記カルナバワックスの配合量は 6 ~ 10 質量%であり、ヒートシール剤として 110 でのヒートシール性と、50 での耐ブロッキング性とを与える、請求項 1 に記載の水分散体。

40

【請求項 10】

前記水分散媒には分散剤として部分ケン化型ポリビニルアルコールが、前記分散質に対して 2.0 ~ 10.0 質量%配合されている、請求項 6 ~ 10 のいずれかに記載の水分散体。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載の水分散体を含む、塗液。

【請求項 12】

50

請求項 1 1 に記載の塗液を準備するステップと、

該塗液を基体に塗工するステップと、

該塗液を乾燥するステップと、を含む、ポリ乳酸フィルムの製造方法。

【請求項 1 3】

分散質として生分解性樹脂とワックスとを含み、該分散質を水系の分散媒に分散してなる水分散体であって、

前記生分解性樹脂はポリ乳酸であり、

前記ワックスはカルナバワックスであり、前記ポリ乳酸に対して 1 ~ 1 4 質量% の前記カルナバワックスが配合されている、水分散体を準備するステップと、

肥料、農薬その他の機能粒子の表面へ前記水分散体の膜を形成するステップと、

前記水分散体から水を除去するステップと、

を備える徐放性機能粒子の製造方法。

10

20

30

40

50